

平成29年度活動報告書

目次

はじめに 中野会長 挨拶

I 地域情報化の推進活動

- I・1 IoT&自動運転ビジネス化推進ワーキンググループ
- I・2 長崎県/長崎市 IoT 推進ラボ
- I・3 長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)
- I・4 ながさき ICT 戦略研究会(長崎県)
- I・5 長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定(長崎県警察本部)
- I・6 長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム、ワーキンググループ
- I・7 長崎県 H29 年度地域創生人材育成事業「企業説明会」
- I・8 長崎県中小企業団体中央会関連

II 交 流 事 業

- II・1 他団体・大学等との交流事業
- II・2 長崎県立大学 講座「企業研究」
- II・3 長崎県工業技術センターとの意見交換会
- II・4 通常総会・講演会・交流会
- II・5 我が社の一押し
- II・6 ビジネスコラボ事業
- II・7 IPA 第13回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」会長賞選定・授与

III 研修事業

- III・1 研修事業(長崎県後援)
- III・2 JISA 補助金による研修(「講演セミナー事業」)
- III・3 新入社員向け IT 技術者研修を実施(「受託事業」)
- III・4 IPA「i(アイ)コンピデンシ ディクショナリ」(中小企業向け IT スキル標準)
- III・5 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナー

IV 人材高度化能力開発事業(助成金受給支援事業)

V 情報収集提供事業(「情報提供事業」)

VI 講演・セミナー事業(「講演セミナー事業」)

VII 理事会(役員会)

平成 29 年度活動報告書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

はじめに

平成29年度の我が国経済は、各経済政策取組みの下、緩やかな回復基調を続けている。雇用情勢が一段と改善する中で人手不足感は特に高まっており、新技術の導入を進め生産性向上と多様な人材の労働参加が求められています。

長崎県の景気は、全体として緩やかな回復基調を続けており、雇用・所得環境をみると、労働需給は改善が続いています。本県を取り巻く社会経済情勢は、人口減・グローバル化・情報通信技術による高度情報化進展等大きく変化しています。平成28年度から32年度の5か年計画は、この潮流や課題を的確に捉え、県づくりの新たな視点で「長崎県総合計画チャレンジ2020」が策定され、実施2年目の取組みが推進されました。

当協会の活動においては、重点事業として取り組んでいる研修事業を、会員皆様の課題・ニーズをお聞きしながら計画を立て実施しました。実施にあたっては、厚労省の助成金制度が大幅に改定される中で、新制度の「人材開発支援助成金」を、会員皆様に積極的に紹介し、活用して頂きました。皆様方には IT 業界における重要な経営資源の柱として、人材育成の重要性をご認識され、熱心に受講して頂きました。会員企業様の多忙な業務の中、目標の 200 名には達しませんでした。194 名の方に受講して頂きました。さらに、JISA 補助金による「地域高度 IT 技術者育成事業」の 1 講座 11 名を加えると、受講者総数は 205 名となりました。会員の皆様に重ねて厚くお礼申し上げます。

次に、情報提供事業では、関係団体(ANIA、JISA)、他団体、大学、行政と連携しながら有益な情報をホームページやメールで皆様にお届けしました。

長崎県における先進的ビジネス創出と事業化を目指し、「IoT & 自動運転ビジネス化推進ワーキンググループ」による勉強会を継続して開催してきました。また、経済産業省が推進する「地方版 IoT 推進ラボ」に、長崎県、長崎市、南島原市が選定され、その活動を推進するため、それぞれの研究会に積極的に参加し、県内の企業様のお役に立てるよう鋭意活動中です。

また、2 ヶ月毎に実施していますビジネスコラボ会には、会員の方々に案内をしており、参加によりお互いに親交を図り信頼感を醸成して、ビジネスの協業へ発展し成果を上げておられる例もあります。

さて、全国各地にはそれぞれ地域情報産業の組織があり、その連合組織として全国地域情報産業団体連合会(全情連: ANIA)があり、当協会も加盟しております。ANIA では毎年、全国大会を各地で開催し、平成 29 年度は長崎で“ICT で地方創生、ふたたび出島から！”をスローガンに開催しました。本大会開催にあたり、会員各位のご支援・ご協力の下、会員様をはじめ県内外から約300名のご参加をいただき、お蔭様で盛会裏に終了することができました。ここに厚く御礼申し上げます。懇親会では長崎伝統の龍踊り、また中国文化遺産の変面を披露し全国からご参加いただきました皆様方には長崎大会を楽しんでいただき、また会員の皆様にも親睦を十分図っていただけたことと思います。

平成 29 年度に賜りました皆様のご支援・ご協力に改めて感謝しご挨拶と致します。

一般社団法人 長崎県情報産業協会
会長 中野 一 英

I 地域情報化の推進活動

国、長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と地元企業が協力・提携しながら、課題解決に向けての取組みや施策への提案を行い、県・市事業へ参画し成果が出ている。

また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータを収集し、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

I・1 IoT&自動運転ビジネス化推進ワーキンググループ（敬称略）

IoT は大きなビジネスチャンスの可能性を秘めており、NISA として、IoT および長崎県他が推進する「長崎公道自動運転プロジェクト」は何れも同様の技術領域であるので、事業化を推進するためのワーキンググループである。また、長崎県および長崎市においても、経産省の「地方版 IoT 推進ラボ」のそれぞれ「長崎県 IoT 推進ラボ」、および「長崎市 IoT 推進ラボ」として選定され、長崎県・市と連携しながら地域でのビジネス創出への検討を行う。

(1) 研究グループ

G1:IoT&ビッグデータ 研究グループ・・・[IoT システム基盤、ネットワーク基盤、データベース基盤の研究]
グループ長:佐藤 康彦(副会長)

G2:ビッグデータ&AI 研究グループ・・・[データ分析、機械学習(ディープラーニング含む)、AI 活用基盤の研究]
グループ長:中野 一英(会長)

(2) 参加メンバー

【NISA 会員】アイティスペース(株)、(株)NDKCOM、オフィスメーション(株)、システムファイブ(株)、(株)ドウアイネット、(株)PAL構造、不動技研工業(株)、(株)ユースフル、(有)ランカードコム、リコージャパン(株) 長崎支社、NISA

【県・団体】長崎県海洋・環境産業創造課 グリーンニューディール推進班、長崎県企業振興課 新事業支援班、(公財)長崎県産業振興財団

(3) 活動

H29-04-20	第 4 回 IoT-WG 会議	長崎市図書館 会議室	①H28 年度長崎県 IoT 活用可能性調査 ②H28 年度長崎県産業労働部予算 (IoT 関係) ③G1、G2 研究グループの状況と活動基本方針 ④エ技セ「IoT 分科会」 ⑤アイデアソン・ハッカーソン
H29-05-25	第 5 回 IoT-WG 会議	長崎市図書館 会議室	①情報技術人材育成(enPIT)について ②書籍紹介 ③IoT・自動運転ビジネス化 WG 研究テーマについて
H29-08-22	第 6 回 視察	南島原市	①農業 IT (株)セラク 見学会 ②南島原市ハッカソン事業 調査

I・2 長崎県/長崎市 IoT 推進ラボ

(1)「地方版 IoT 推進ラボ」(経済産業省)

産官学連携によりIoT推進コンソーシアムが設立され、その下でIoT推進ラボは、ラボ3原則[成長性・先導性、波及性(オープン性)、社会性]に基づき個別のIoTプロジェクトを発掘・選定し、企業連携・資金・規制の面から徹底的に支援されるとともに、大規模社会実装に向けた規制改革・制度形成等の環境整備が行われる。同様に地方においても、IoT、ビッグデータ、AI等の活用、人材育成等を加速し、地域課題の解決とともに地域の経済発展を推進されることが期待される。

このため、地域企業にIoT 導入プロジェクトの創出を促す「地方版IoT 推進ラボ」の普及を図る。

(2)「長崎県 IoT 推進ラボ」(地方版 IoT 推進ラボとして認定)

1)担当部署

長崎県企業振興課

2)事業の概要

県内産業の競争力強化のため、IoT を活用した生産性向上、新商品、新サービス創出の取組を推進し、IoT 活用ノウハウの蓄積やIoT 人材の育成、要品・サービスの高付加価値化を図る。

i)産学官等による「事業化可能性研究会」において、県内産業におけるIoT 新商品、新サービスの開発・活用の検討や一課題解決に係る助言等を実施、各方面に提案

ii)セミナー開催や先進地視察によるIoT の普及啓発及び機運醸成

iii)技術動向や外部資金等の最新情報の提供

iv)IoT 人材の育成を図る講座等への支援

v)IoT 分野の開発・活用に知見のある県内企業のネットワーク化

vi)県内の先行する取組みにおける実証実験への支援

3) 評価指標

本事業を通じて、平成 32 年までに IoT 活用プロジェクト 3 件を創出

4) 今後の展開

推進するプロジェクトについては、技術面と併せビジネス面からも検討を実施。以後は、PR やマッチング実施等による伴走型支援によるビジネス自立化を図る。

5) 長崎県 IoT 推進ラボ 事業化可能性研究会 座長: 佐藤副会長 (NISA)

長崎県工業連合会、長崎大学、長崎総合科学大学、長崎県立大学、佐世保工業高等専門学校、日本政策金融公庫長崎支店、長崎県企業振興課
(県関連部局) 総務部情報政策課、長崎県工業技術センター

6) 活動

全体統括	事業化可能性研究会	・産学官の連携により事業全体の方向性等を検討	
		第 1 回研究会 (H29-10-11(水))	(1)IoT 活用戦略(活用モデル)の策定状況について (2)IoT 事業化推進の進捗について (3)人材育成ワークショップ事業について (4)他地域の取組について (5)フリーディスカッション
		第 2 回研究会 (H30-2-14(水))	(1)進捗報告 (2)取組み状況 (3)次年度事業について
事業化支援	基礎調査の実施	・アンケートの実施 ・ヒアリング実施 ・市場動向調査、先進事例調査	
	IoT 活用戦略の策定	・企業 IoT 導入への道筋提示 ・導入例・供給側双方の取組み方提示	
	事業化支援	・訪問コンサルティング、企業マッチング	
普及啓発	経営層向けセミナーの開催	第 1 回セミナー (H29-11-13(月))	・製造業における IoT の全体像、具体例の紹介
		第 2 回セミナー (H30-1-26(金))	・地域における IoT 活用について
	先進地視察	視察 (H30-2-6(火))	・(株)オプティム (佐賀大学構内)
人材育成	人材育成ワークショップ	・5 回/年 ・技術向上、他業種との交流を図る	

(3)「長崎市 IoT 推進ラボ」(地方版 IoT 推進ラボとして認定)

1) 担当部署: 長崎市商工部 産業雇用政策課

2) 事業の概要

- i) 長崎地域では、人口減少とともに労働力人口の減少が顕在化しており、地場製造業が地域内の生産額を維持するには生産性の向上が不可欠である。このため、IoTを活用した生産性向上の取組みを推進し、長崎地域製造業の競争力が強化される。
- ii) 地域内の核となるプレイヤーで長崎市IoT推進ラボを組織し、相互に連携するとともに、国等の関連機関との連携を図りながら、長崎地域製造業へのIoT導入への取組みを加速。

3) 評価指標

本事業を通じて、平成32年度までにIoTを活用した製造業の活用事例を5件創出。

4) 今後の展開

地域内製造業のニーズの掘り起こし及びIT企業とのマッチングを図りながら、専門機関による技術面、経営面の提言を受けながらプロジェクトを創出していく。必要に応じて国等の補助制度を活用することでプロジェクトの自立化、事業化を支援し、製造業への活用成功事例として広く市内製造業への導入を図る。

5) 長崎市IoT推進ラボ運営委員会 会長: 西(工業会会長)、副会長: 中野会長 (NISA)

長崎工業会、(一社)長崎県情報産業協会、長崎大学、長崎総合科学大学、長崎県立大学、長崎県工業技術センター、(株)十八銀行、(株)親和銀行

第 1 回 運営委員会	H29-8-3(木)	長崎市役所	・長崎市 IoT 推進ラボ運営委員会設立 会則検討、役員(会長・副会長)選任 ・事業概要について ・各委員の取組み ・今後の取組みについて
----------------	------------	-------	---

I・3 長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)(敬称略):会長 佐藤副会長(NISA)

長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)は長崎県内の産学官が一体となり、また、九州域内の関連団体・企業と連携し、県内における組込みソフト技術の向上とこれに関連する地域企業の振興を支援すべく、H22年6月に結成、活動を開始した。

(1)目的 県内企業での新事業への進出や事業拡大の支援を推進する。

- 1)地元企業でのビジネスチャンス実現に向けた支援
- 2)企業による県等の補助金申請書作成への支援
- 3)関連情報の提供とパートナーの紹介
- 4)長崎県内/九州域内のネットワークを通じた支援

(2)関連団体

長崎県、長崎市、長崎総合科学大学、九州IT 融合化システム協議会(ES-Kyushu)、(一社)長崎県情報産業協会(NISA)、西九州組込み技術コミュニティ(NET-C)、東長崎エコタウン協議会(ENEC)

(3)IT 融合化講演会 H30-1-31(木)、13:30~17:00、ホテルセントヒル長崎

- 1)基調講演:「IoT~AI~ロボットの技術動向と持続可能な社会情報システムに向けて」
講師:九州大学大学院システム情報科学研究所 主幹教授 福田 晃
- 2)関連講演 2テーマ
《詳細は P.17、VI講演・セミナー事業(2)、3)を参照》
- 3)聴講者:77名(会員29名、非会員48名)

I・4 ながさき ICT 戦略研究会(長崎県)

(1)基本理念

ICT(情報通信技術)を本県の様々な分野における諸課題に対して、積極的・重点的に利活用し、「人、産業、地域が輝くたくましい長崎県づくり」を推進

(2)推進期間

平成28年度から平成32年度まで(5年間)

(3)目指すべき方向性

基本理念を実現するため、目指すべき方向性として4項目の「基本方針」を定め、各項目に関する施策を積極的に展開

<基本方針>

- 1)利便性の高い電子行政の構築
- 2)安全・安心に暮らせる地域社会の実現
- 3)ICTの利活用による産業の活性化
- 4)ICT社会を推進するための人材育成・基盤強化

(4)戦略の構成・体系

基本方針に沿って、重点分野を定めるとともに、各分野における「戦略推進のための施策」を構築し、本戦略を構成

『ICTを様々な分野における諸課題に対して、積極的・重点的に利活用し「人、産業、地域が輝くたくましい長崎県づくり」を推進する』

- 1)利便性の高い電子行政の構築
(クラウド環境、オープンデータ・ビッグデータ、電子行政サービス)
- 2)安全・安心に暮らせる地域社会の実現
(医療・介護・健康、防災・減災、子育て支援・見守り、防犯・バリアフリー、公共インフラ)
- 3)ICTの利活用による産業の活性化
(ICT関連分野等、農林水産業、情報発信・通信・環境等、多様な働き方)
- 4)ICT社会を推進するための人材育成・基盤強化
(ICT教育・人材、情報セキュリティ基盤)

(5)NISA 参加会員(14社)

(株)イシマル、エコー電子工業(株)、(株)NDKCOM、NBC 情報システム(株)、扇精光ソリューションズ(株)、オフィスメーション(株)、十八ソフトウェア(株)、(株)ドゥアイネット、(株)長崎ケーブルメディア、(株)日本ビジネスソフト、不動技研工業(株)、(有)ランカードコム、(株)十八銀行、(株)親和銀行、西日本電信電話(株)西日本支社(他 NISA 会員外)長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、(公財)ながさき地域政策研究所、(株)長崎経済研究所、長崎県企業振興課

オブザーバー:システムファイブ(株)、NISA

(6)活動

H29-8-7(月)	第3回	出島交流会館	・官民協働クラウドの構築状況 ・官民協働クラウドの活用を希望する事業の提案について
H30-2-23(金)	第4回 (通算6回)	県庁舎行政棟	・官民協働クラウドの構築スケジュールについて ・官民協働クラウドの運用規定について ・官民協働クラウドの活用事業報告 ・情報提供

I・5 長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定(長崎県警察本部)

サイバー犯罪、サイバーテロの増加、インターネット上の違法・有害情報の氾濫、コンピュータウィルスの蔓延が社会問題となり、サイバー空間に対する県民の不安感も急速に高まっている中で、本協定は、社会全体での効果的なサイバーセキュリティ対策を推進することにより安全安心なサイバー空間の実現を目指すものである。

(1)目的

この協定は、協定機関の相互理解による高い信頼と協力関係に基づき安全安心なサイバー空間の実現を目指すことを目的とする。

(2)連携、協力の内容

協定機関は、前条の目的を達成するため、相互に連携、協力し、次の各号に掲げる事項を推進する。

- 1)サイバー空間の脅威に関する情報の共有
- 2)サイバー空間の脅威への対処に係る技術的支援
- 3)サイバー空間の脅威に対処できる人材の育成
- 4)サイバー空間の脅威に立ち向かう社会全体の意識の向上
- 5)その他協定機関が必要と認めるサイバーセキュリティに関する事項

(3)協定参加機関

長崎県、長崎県警察、長崎県商工会議所連合会、長崎県商工会連合会、長崎県中小企業団体中央会、(公財)長崎県産業振興財団、西日本電信電話(株)長崎支店、(株)ラック、トンドマイクロ(株)、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校、NISA

(4)活動(NISA 事務局参加)

H29-4-26 (水)	長崎県警察本部	相互協力協定担当者検討会	・H29 推進計画検討 ・サイバーセキュリティ教委の意識調査分析 ・講演「サイバー空間における驚異の現状」
H29-6-15 (木)	長崎県警察本部	第6回長崎県サイバーテロ対策連絡協議会	講演「サイバー空間を取り巻く課題と対策」
H29-10-20 (金)	長崎県警察本部	サイバーセキュリティに関する意識向上研修会	安全・安心な公衆無線LAN対策
H30-3-10 (土)	長崎県警察本部	情報モラル・セキュリティコンクール優秀賞授賞式 会長賞授与:中野会長	全国優秀賞: ・株式会社カスペルスキー賞 ・一般社団法人全国地域情報産業団体連合会賞 地域優秀賞: ・一般社団法人長崎県情報産業協会会長賞 ・長崎県ネットワーク・セキュリティ連絡協議会会長賞 ・長崎県警察本部警務部長賞

I・6 長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム、ワーキンググループ

(1)取組み

H27年7月に設置した本コンソーシアムは、産業界と学校及び行政が緊密に連携し、「産業人材の育成」「県内就職の促進」「処遇改善」「人材確保」について情報共有や意見交換を行い、「人材県長崎」の実現のために有効な具体的取組を検討してきた。

この検討結果、産業構造や産業人材育成に関する課題を掘り起こした上で、産学官の役割・取組事項・人材育成の方向性・具体的な手法を明確にした戦略「長崎県産業人材育成戦略」を策定した。

本年度は「策定WGと業種別検討チーム」を解消し、中心となる4分野[①幅広い業種のIT化を促進する情報サービス業、②造船業を中心とした機械・金属系製造業、③オフィス系企業、④宿泊業を中心とした観光関連産業]の「業種別の人材育成推進WG」が設置され、NISAは「情報サービス業の人材育成推進WG」の参画し、課題の抽出と解決策策定の検討を行う。

(2) 検討組織

- 1) 「長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム」(継続)
- 2) 「情報サービス業の人材育成推進 WG」

(3) NISA 参加委員

- 1) 「長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム」: NISA 事務局
- 2) 「情報サービス業の人材育成推進 WG」: (株)NDKCOM、オフィスメーション(株)、扇精光ソリューションズ(株)、NISA

(4) 検討会議 NISA 委員が参加

H29-6-12(月)	長崎タクシー会館	第1回情報サービス業の人材育成推進 WG
H29-12-22(金)	ホテルセントヒル長崎	第5回長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム会議
H30-2-21(水)	長崎県庁	第2回情報サービス業の人材育成推進 WG
H30-3-26(月)	ホテルセントヒル長崎	第6回長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム会議

I・7 長崎県 H29 年度地域創生人材育成事業「企業説明会」

(1) 目的

人口減少社会の中で特に人手不足が見られる分野においては、全国的な雇用情勢の改善や、それぞれの分野での労働需要の高まりに伴い、一層の人手不足が懸念される状況である。こうした地域における人材不足分野の創意工夫に基づく人材育成の取組みを促進することを通じ、人材の確保・育成対策を図る。

(2) 「企業説明会の実施」

佐世保商業高校		
H29-12-11(火) 16:00-16:50	総合ビジネス科 情報ビジネス系 2年生 14名	企業説明: 大新技研(株)
諫早商業高校		
H29-12-18(月) 13:25-15:15	情報科 1年生(39名)、2年生(40名) 計 79名	NISA紹介: 「情報サービス業界の概要について」 中野会長 (NISA) 企業説明: ケービーソフトウェア(株)、(株)システック井上、 (株)ヒューマンウェイブ

I・8 長崎県中小企業団体中央会関連

中小企業景況調査報告を代表会員 4 社により実施した。

- (1) 平成 29 年度 第 1 四半期 (H29 年 04~06 月期)
- (2) 平成 29 年度 第 2 四半期 (H29 年 07~09 月期)
- (3) 平成 29 年度 第 3 四半期 (H29 年 10~12 月期)
- (4) 平成 29 年度 第 4 四半期 (H30 年 01~03 月期)

II 交 流 事 業

II・1 他団体・大学等との交流事業(敬称略)

(1) 第 39 回 全情連大会「ANIA 長崎大会/ANIA30 周年記念式典」(敬称略)

一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会(略称: ANIA)では、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことを目的に、毎年各地域の情報産業団体と共催で全国大会を開催している。平成 29 年は、長崎で「ICT で地方創生、ふたたび出島から！」をスローガンに開催した。

- 1) 行事名: 第 39 回全情連大会 ANIA 長崎大会/ANIA30 周年記念式典
- 2) 開催日: 平成 29 年 11 月 9 日(木)
- 3) 場 所: ホテルニュー長崎
(住所) 〒850-0057 長崎市大黒町 14-5、(TEL) 095-826-8000 (FAX) 095-828-3396
- 4) 趣 旨: 本大会は長崎県をはじめ全国の情報産業の会員企業等が一堂に会し、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことにより、本県情報産業や地域の活性化に資することを目的として開催した。
- 5) 主 催: 一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会(ANIA)
一般社団法人 長崎県情報産業協会(NISA)
- 6) 後 援: 経済産業省・総務省・九州経済産業局・九州総合通信局・長崎県・長崎市
- 7) 参加者: 305名
内訳 行政機関(ご来賓) 30名
IT関連企業経営者およびその社員 275名

8) 内容

①長崎大会/ANIA30 周年記念 式典(13:30~14:50)

- i) 開会宣言 一般社団法人 長崎県情報産業協会 副会長 佐藤 康彦
- ii) 開会挨拶 一般社団法人 長崎県情報産業協会 会長 中野 一英
- iii) 主催者挨拶 一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会 会長 長谷川 亘
- iv) 来賓挨拶
 長崎県知事 中村 法道 (副知事 里見 晋)
 経済産業省 商務情報政策局 地域情報化人材育成推進室 室長 藤岡 伸嘉
 総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室 室長 松田 昇剛
 ANIA30 周年記念挨拶(ANIA30 年の歩み スライドショー)
 一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会 前会長 中村 真規

vi) 表彰

ANIA 優秀役員表彰 一般社団法人 長崎県情報産業協会 理事 平 敏孝

②講演会(15:00~17:45)

- i) 講演 I 「夢持ち続け日々精進」
株式会社 A and Live 代表取締役 高田 明 (株式会社 ジャパネットたかた 創業者)
- ii) 講演 II 「長崎の『和華蘭』文化に学ぶ」
長崎総合科学大学 環境・建築学部人間環境学科 教授 ブライアン・バークガフニ

③懇親会(18:30~20:00)

- i) 主催者挨拶 一般社団法人 長崎県情報産業協会 会長 中野 一英
- ii) 来賓ご挨拶 (ビデオメッセージ) 長崎市長 田上 富久
- iii) 鏡開き 来賓および主催者
- iv) 次回開催地の紹介
 一般社団法人 青森県情報サービス産業協会 副会長 井上 宏
 一般社団法人 青森県情報サービス産業協会 副会長 長内 睦郎
- v) 中締め
 一般社団法人 長崎県情報産業協会 副会長 濱本 浩邦

(2) ANIA 通常総会と関連行事(敬称略) H29-7-13(木)、東海大学校友会館

出席: 中野会長、オブザーバー: 事務局長

1) 通常総会 15:00~16:00

- 議案 i) 平成 28 年度事業報告および平成 28 年度収支決算報告
 ii) 平成 29 年度事業計画および平成 29 年度収支予算
 iii) 理事・監事の選任について

2) 講演会 16:00~17:00

- 講演「経済産業省の情報政策について」
 経済産業省 商務情報政策局 IT イノベーション課長補佐 唐木 真
 「総務省の地域情報化施策について」
 総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室長 吉田 恭子

3) 懇親会 17:30~19:00

(3) ANIA 新春交流会(敬称略) H30-2-8(木) 18:00~19:30 東海大学校友会館

一般社団法人日本 IT 団体連盟(IT 連盟)と合同で開催

Nisa5 名出席: 中野会長、須藤交流委員長、(株)ビーオルグ 代表取締役社長 福田 勝彦、
 (株)相武システム 代表取締役社長 和田 雅資、事務局長

(4) ANIA 理事会

	日時	場所	出席	議題
第 1 回	H29-4-13 (木) 15:00:~17:30	八重洲倶楽部	中野会長(ANIA 理事)	・平成 28 年度事業報告・収支決算について ・平成 29 年度事業計画・収支予算について ・H29 定期総会について ・全国大会について (報告)IT 連盟活動、ANIA 活動について
第 2 回	H29-6-7(木) 11:30~12:30	東海大学交友 会館	中野会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバ)	・全国大会・30 周年記念大会について ・新春交歓会について
第 3 回	H29-7-13 16:00~16:10	東海大学交友 会館	中野会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバ)	・正副会長を互選により決定

第4回	H29-11-9(木) 11:30~12:30	ホテルニュー 長崎	中野会長(ANIA 理事)	・情報サービス業における小規模事業者の 定義拡大について ・来年の全国大会(青森県)について ・理事会の定義について (報告)日本IT 団体連盟について
第5回	H30-2-8(木) 16:00~17:30	東海大学交友 会館	中野会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバ)	・事務局体制の変更について ・平成30年度事業計画 ・平成30年度定期総会 ・平成30年度全国大会について (報告) ・ANIA 長崎大会の実施報告、および開催県 には金銭的負担を強くない原則に則り 50万円を支出 ・日本IT 団体連盟について

(5) ANIA 事務局長連絡会議 (敬称略) 事務局長 出席

	日時	場所	出席	議題
第1回	H29-7-14(金) 10:00~12:00	八重洲倶楽部	事務局長	・超高速開発について (超高速開発コミュニティ) ・長崎大会について ・近況報告 長崎県と四国で会員交流会を実施 IT補助金 ・IT連の活動について
第2回	H29-11-9(木) 10:00~11:00	ホテルニュー 長崎	事務局長	・e-messe 金沢の概要説明と出展依頼 ・情報サービス業における小規模事業者の 定義拡大について ・IT 社会推進政治連盟について ・ANIA 部会活動について ・全国大会について
第3回	H30-2-9(金) 10:00~12:00	八重洲倶楽部	事務局長	・長崎全国大会の報告 305名参加(長崎) ・SE ハンドブックの案内(神奈川) ・来年度の愛媛大会の開催について保留 ・ANIA 加入のメリットとは何かの議論に ついて

(6) 長崎県/四国情産協企業とのビジネス交流会(敬称略)

長崎県/四国各県の情産協会企業が互いに商品・技術等を紹介し、ビジネス拡大を図るため交流会を実施した。

- 1) 日時: H29-7-6(木)・7(金)
- 2) 会場: 長崎市図書館・新興善メモリアルホール
- 3) 主催:

長崎	四国情報サービス産業協議会連合会
(一社)長崎県情報産業協会	香川県情報サービス産業協議会 (一社)徳島県情報産業協会 (一社)高知県情報産業協会 愛媛県情報サービス産業協議会

4) 参加会員:

長崎	扇精光ソリューションズ(株) オフィスメーション(株) ケービーソフトウェア(株) システムファイブ(株) (株)ユースフル (有)ランカードコム	徳島	(株)サンエックス情報システム (株)ウェブチップス スタンシステム(株)
		愛媛	(株)ユイ・システム工房
		香川	(株)穴吹カレッジサービス (株)コヤマ・システム (株)タクマテック (株)STNet

5) 次第:

長崎県、四国がプレゼンし、その後、互いが企業テーブルをそれぞれ訪ね展示・デモの紹介を受ける。

1	名刺交換	
2	開会の挨拶	(一社)長崎情報産業協会 中野会長 県挨拶 長崎県産業労働部 次長 貞方 学
3	第1部 (ミニプレゼン)	準備含めて各社 10分
4	第2部 (展示・デモ)	各社にデモテーブルを設置し、長崎/四国企業が前半・後半交互に訪問。
5	閉会挨拶	四国情報サービス産業協議会連合会 (一社)徳島県情報産業協会 外山会長
6	第3部 (懇親会)	割烹 大判
7	翌日	・各自企業訪問および視察 ・他視察

II・2 長崎県立大学 講座「企業研究」

長崎県立大学情報システム学部情報システム学科では、をカリキュラムに授業として「企業研究」を組入れている。長崎県の情報産業について、講師派遣の依頼があり下記の通り実施した。

授業名	企業研究「長崎県の情報産業と課題」
講師	中野会長(NISA)
日時	H29-11-30(木)、第4時限目(14:40~16:10)
開講対象	情報システム学科2年生
授業概要	時間90分(講義45分、グループワーク45分)

II・3 長崎県工業技術センターとの意見交換会 (敬称略)

県工業技術センターの研究成果の説明を伺い、また技術交流の強化の為、意見交換会を開催した。

(1)日 時:H29-12-21(木)16:00~17:30

(2)場 所:出島交流会館 9階 展示交流室(長崎市出島町2-11)

(3)次 第

- 1)挨拶 NISA 会長 中野 一英/工業技術センター所長 馬場 恒明
- 2)工業技術センターの概要説明
- 3)おもな新規導入設備の紹介
 - ・ビッカース硬度計、ロックウェル硬度計、マイクロビッカース硬度計
 - ・外、おもな試験設備
- 4)電子情報関係(組込み技術等)の開発事例紹介
 - ・海洋産業に用いるデジタルデータと電力の非接触式伝送システムの開発
 - ・電気・電子機器のノイズ対策技法の確立
 - ・無線ネットワークを用いた振動解析装置の開発
 - ・光学特性の評価手法確立による非破壊計測装置の応用展開
 - ・低コストで高機能な発光サイン用導光板の開発
 - ・連成統合シミュレーション技術の開発と普及支援
 - ・新規電解槽の開発
- 5)意見交換

II・4 通常総会・講演会・交流会 (敬称略)

(1)第24回通常総会 H29-6-22(木) 13:45~15:00 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)出席会員数 正会員出席 35名、委任状 26名、合計 61名(総正会員65社)

2)議 題

- i)第1号議案 議事録署名人の選任の件
- ii)第2号議案 平成28年度 活動報告並びに決算・監査報告 承認の件
- iii)第3号議案 退任に伴う理事・監事の選任の件
- iv)第4号議案 第39回 ANIA 長崎大会の件
- v)第5号議案 その他の案件

3)報 告

- i)第1号報告 平成29年度事業計画
- ii)第2号報告 平成29年度収支予算書(正味財産ベース)
- iii)第3号報告 公益目的支出計画実施報告

(2)第24回通常総会 講演会 H29-6-22(木) 16:30~17:40 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)演題 :「人工知能 IBM Watson を活用した具体的導入事例」

《詳細は P.17、VI講演・セミナー事業(2)・1)を参照》

2)講師 :木村情報技術(株) 代表取締役 木村 隆夫

3)聴講者 :88名(会員79名、非会員9名)

(3)新年度 産学官交流会 H29-6-22(木) 18:00~20:00 ホテルセントヒル長崎 2F「妙見」

参加者:64名(会員57名+来賓7名)

(4)新春講演会 H30-1-25(木) 16:00~17:30 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)演題 :「2020年 コンピュータはどのように進化するか 人類の新たな挑戦 The Machine プロジェクト」

《詳細は P.17、VI講演・セミナー事業(2)・2)を参照》

2)講師 :日本ヒューレット・パッカー(株)

HPE エバンジェリストリーダー HPE 総合エバンジェリスト 山中 伸吾

3)聴講者 :97名(会員72名、非会員25名)

(5)新春産学官交流会 H30-1-25(木) 18:00~20:00 ホテルセントヒル長崎 3F「妙見」

参加者:総数 84名(会員55名+来賓29名)

II・5 我が社の一押し (敬称略)

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。交流委員会で担当し、開催サイクルは下記の通り、2回/年開催した。

(1)6月:通常総会時 :H29-6-22(木)

1)(株)長崎ケーブルメディア「魅力ある地域の情報発信への取組み」

発表者:営業部 課長 池田 広樹、主任 木下 文暁

2)(有)ランカードコム「IBM Watsonと各種クラウドを活用した自動受付システムの事例紹介」

発表者:取締役社長 峰松 浩樹

(2)1月:新春産学官交流会開催時 :H30-1-25(木)

1)(株)NDKCOM「展示会来場者情報管理システム」

発表者:ITソリューション部 副部長 尾崎 茂雄氏

2)NBC 情報システム(株)「女性研修について」

発表者:常務取締役 荒木 久生

II・6 ビジネスコラボ事業

懇親を通して、会員間交流が進み、さらに「我が社の一押し」に参加して、発表企業が持っている「優れた技術・製品等」に理解を深め、ビジネスのコラボレーションが進むことを図りながら、下記の通り開催した。

(1)第33回 H29-4-20(木) 18:30~20:00 《旬彩ながや》

(2)第34回 H29-9-21(木) 18:00~20:00 《リストラテ kado》

(3)第35回 H29-12-21(木) 18:00~20:00 《川正》

II・7 IPA 第13回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」会長賞選定・授与

インターネットの安全利用への注意はさらに重要になっていると考えられることから、子どもたちがコンクール作品の制作を通して、インターネットの安全利用を意識できるよう、2017年度13回目のコンクールが独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)主催で実施され、昨年同様の後援し、地域賞(NISA 会長賞)を設定した。

『第13回 IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2017』の地域賞(NISA 会長賞)の入選作品を選定し表彰状と副賞を贈呈。

なお、今回から他団体賞と共に授賞式を県警で実施した。

日時:H30年3月10日(土)、13時30分~14時30分

場所:長崎県警察本部

NISA 地域賞は一般社団法人長崎県情報産業協会優秀賞(中野会長:(株)NDKCOM)から授与

【優秀賞 一般社団法人長崎県情報産業協会(NISA)】

・標語部門「気づいてね SNSの危険性」大村 武弘さん(松浦市立志佐中学校 2年)

- ・ポスター部門「知らない間に」川添 梨々花さん（長崎県立佐世保北高等学校 1年）
- ・4コマ漫画部門「ネットと詐欺はとなり合わせ」小林 歩さん（南島原市立深江中学校 3年）

※長崎からの作品が下記団体・企業の優秀賞が選定された。

- ・優秀賞 <一般社団法人全国地域情報産業団体連合会>
- ・優秀賞 <株式会社カスペルスキー>
- ・優秀賞 <長崎県警察本部>
- ・優秀賞 <長崎県ネットワーク・セキュリティ連絡協議会>

Ⅲ 研修事業

Ⅲ・1 研修事業(長崎県後援)

(株)長崎ソフトウェアセンターの解散により、地元で就業者の研修ができなくなり、長崎県産業労働部のご支援により、平成 20 年度に開始した当協会主催による研修事業は、協会会員様のご賛同を得、人材育成の一端を担うことができた。

平成 29 年度は、皆様からのアンケート結果を反映し 26 講座を設定し、2 講座は申込みが 3 名以下であった為中止し、24 講座を開講した。受講者は目標であった 200 名に対し 194 名であった。受講された企業の皆様に厚く感謝を申し上げる。

本事業は、NISA 一丸となって、佐藤研修技術委員長を中心に、峰松副委員長の並々ならぬご尽力と会員の皆様のご理解によって、おおきな成果を上げることができた。

研修計画から運営まで、ご協力頂いた会員の FJQS を始め FSC、AES に感謝申し上げます。

	講座名	開講日	日数	受講者数
技 術 系	PMBOK に基づいた プロジェクトマネジメントの実践	H29/5/17-19	3	7
	データベース設計ワークショップ～概念設計、論理設計、物理設計～	H29/6/14-16	3	5
	ネットワークとセキュリティの基礎	H29/6/28-30	3	17
	パフォーマンスを上げる SQL チューニング	H29/7/12-14	3	6
	業務分析設計概説 ～システム開発における要件定義のまとめ方～	H29/9/19-21	(3)	(2)中止
	無線 Lan の運用管理 ～仕組みからセキュリティ対策、トラブルシューティングまで～	H29/8/2-4	3	7
	C#によるオブジェクト指向プログラミング(基礎編)	H29/8/8-10	3	19
	実務で活用する UNIX/Linux の必須技術	H29/8/30-9/1	3	9
	システム開発・設計の基礎 ～開発方法論、各種設計作業の定石～	H29/9/6-8	3	7
	お客様へのソリューション提案のための統計数学 ～ソリューションの差別化戦略～	H29/9/20-22	(3)	(2)中止
	サイバー攻撃におけるインシデント対応 ～疑似環境を用いた解析～	H29/10/4-6	3	4
	Linux サーバの導入と管理	H29/10/11-13	3	5
	オブジェクト指向の本質に基づいたアプリケーション設計 ～品質、コスト、改修を意識した設計～	H29/10/18-20	3	10
	ネットワークトラブルの原因分析技術 ～パケットキャプチャリングと トラフィック解析～	H29/10/25-27	3	7
	PHP による Web アプリケーション開発	H29/11/15-17	3	5
	Windows Server 2012 システム管理 (Active Directory の管理を含む)	H29/11/29- 12/1	3	6
	ネットワーク管理者のためのネットワークセキュリティ	H29/12/6-8	3	10
	フレームワーク ASP.NET MVC で開発する Web アプリケーション (C#編)	H29/12/13-15	3	6
	IoTの事例から学ぶITプロジェクト企画	H29/12/20-22	3	6
	プログラム開発におけるレビュー・テスト技術の定石	H30/1/17-19	3	5
ソフトウェア開発のためのモデリングと UI 設計	H30/1/31-2/1	3	4	

ヒューマン系	仕事の段取り力養成講座 ～プロジェクト型業務の遂行能力を身につけるために～	H29/5/31-6/2	3	16
	SEのための書く技術、考える技術～より良い機能定義書や 作業手順書の書き方～	H29/7/5-7	3	12
	信頼されるSEに求められる問題解決スキル	H29/7/26-28	3	8
	ITプロジェクトにおける次期若手リーダー育成 ～指導者の条件～	H29/8/23-25	3	9
	対人能力強化のためのビジネスコミュニケーション	H29/9/13-15	3	4
	合 計		72日	194名

Ⅲ・2 JISA 補助金による研修（「講演セミナー事業」）（敬称略）

JISA からの補助金「地域高度化事業（研修）」で下記を計画し、実施した。

(1)Unity による AR/VR/MR 開発体験

日時:H30-1-11(木)・12(金)

会 場:出島交流会館

講 師:株式会社シーディングソフテック 代表取締役社長 石井 勇一

受講者数:11名

Ⅲ・3 新入社員向け IT 技術者研修を実施（「受託事業」）（敬称略）

「助成金を活用した技術者研修で業界No.1」のエンベックスエデュケーション社とタイアップし、厚労省「キャリア形成促進助成金（特定認定実習併用職業訓練コース）」を適用して、H29 年度の新入社員研修を「長崎・佐世保」の 2 会場で実施した。助成金制度の活用により、本研修は企業負担がほぼ無く実施した。

(1)長崎会場

講座:JavaWeb 技術者養成コース

日時:H29-4-7(金)～6-6(火)(38日間)

会場:Nisa 研修室

講師:(株)エンベックスエデュケーション 人材育成本部 穴井 秀喜

受講者 5 社 6 名

(2)佐世保会場

講座:JavaWeb 技術者養成コース

日時:H29-4-5(水)～6-2(金)(38日間)

会場:長崎県立佐世保技能会館

講師:(株)エンベックスエデュケーション 人材育成本部 村上 尊司

受講者 2 社 9 名

Ⅲ・4 IPA「i(アイ)コンピデンシ ディクショナリ」(中小企業向け IT スキル標準)

「i コンピデンシ ディクショナリ」(以下、iCD)は、企業において IT を利活用するビジネスに求められる業務(タスク)と、それを支える IT 人材の能力や素養(スキル)を「タスクディクショナリ」、「スキルディクショナリ」として体系化したもので、企業は経営戦略などの目的に応じた人材育成に利用することができます。本システムの活用を通じて、人材育成戦略の立案(Plan)、育成施策の実行(Do)、自組織のリソース状況の把握(Check)、目標の再設定(Act)といった組織における人材育成の PDCA サイクルを回す活動の一助となることが期待されます。H26、H27 年に「iCD ワークショップ」を長崎で開催し、会員 6 社「オフィスメーション(株)、(株)NDKCOM、不動技研工業(株)、(株)イシマル、NBC 情報システム、扇精光ソリューションズ(株)」が参加した。その後の活動を通して「iCD 活用企業認定」では、企業での iCD の活用レベルや成果の大きさに応じた認証レベルの Silver Plus 3 社、Silver 3 社となった。

(1)活動を推進する為、情報交換会を実施、また福岡開催に参加した。

①福岡 第 10 回情報交換会 H30-2-2、13:00～18:30、学校法人麻生塾(福岡)

(2)「iCD 活用企業認証」認証書およびロゴ

iCD 活用企業認証では、企業での iCD の活用のレベルや成果の大きさに応じて認証レベルを用意している。認証レベルは、iCD Blue、Silver、Silver Plus、Gold★、Gold★★、Gold★★★の 6 段階となる。

日本における iCD を飛躍させることを目的に iCD に取組み活用している企業を認証する制度をスタートし、「iCD 活用企業認証」されている企業を広く紹介している。

iCD の活用状況に応じて Blue/Silver/Gold 段階で認証した。NISA 会員の iCD 活用企業は、Silver Plus、あるいは Silver の認証を受け、それぞれの認証ロゴを HP・名刺等に記載し、企業イメージアップに利用できる。

Ⅲ・5 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナー（敬称略）

(1) セミナー

- ・場 所 長崎県立大学シーボルト校 西棟 W103 講義室
- ・受講料 無料

H29-8-21	「個人情報保護法の改正と情報技術者再教育プログラム(enPiT-Pro)」	長崎県立大学、 長崎県サイバーセキュリティ研究会
H29-12-15	情報セキュリティの経済学的側面 (競合環境における安全で相互に有益なソフトウェア脆弱性情報共有モデル)	長崎県立大学
H29-12-16	情報セキュリティ政策の取組と最近の話題	長崎県立大学、 長崎県サイバーセキュリティ研究会

Ⅳ 人材高度化能力開発事業（「助成金受給支援事業」）

H16 年度からキャリア形成促進事業を始め、H23 年度から成長分野等人材育成支援事業（奨励金）、また H25 年度には日本再生人材育成支援事業（奨励金）を実施したが、成長分野・日本再生（奨励金）制度は H25 年度に終了した。H26 から 28 年度は制度内容を大きく改訂したキャリア形成促進事業を助成金受給支援事業として実施した。H29 年度からは、前制度が大幅改訂され「人材開発支援助成金」となり、これを適用し実施した。NISA 研修において、研修事業と助成金・奨励金を活用する助成金支援事業は車の両輪であり、H29 年度研修の認定申請手続きを積極的に推奨し申請の支援を行った。

事務費：「人材開発支援助成金：10%、ただし、認定実習併用職業訓練：1%」として実施。

※人材開発支援助成金

IT分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業の将来を左右すると言われており、人材こそが IT 業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に取組んでおられることに敬意を表すとともに、NISA 事務局は助成金申請の支援を継続し行っています。

なお、人材開発支援助成金は、H29-4-1 に旧キャリア助成金制度が大幅に改訂された。特定訓練コース（若年者訓練・実習併用訓練等）と一般訓練コース（左記コース以外）に分かれ、助成額・率が改訂された。また、生産性向上（3 年度前に比べて 6%または 1%の伸び）に係る要件を満たした場合、助成額・率が割増される制度が新設された。

H29 年度は下記を実施。

(1) 人材開発支援助成金

1) 計画届および支給申請書様式へ計算式の追加搭載

改訂に伴う申請様式等の変更があったため、NISA では訓練実施計画届様式に Nisa 研修内容、支給申請では支給額計算式を搭載してわかりやすくまとめ、また、作成時の注意点等を労働局に問合せ・確認を行い、申請時の手助けとなるよう会員に連絡した。

2) 訓練実施計画届書のチェック支援（H29-3～）

- 人材開発支援助成金は、初回訓練計画届は研修・訓練開始の 1 か月前まで、以降新規の研修受講の際は、訓練開始 1 か月までに、訓練計画内容の変更（人数・受講者等）は訓練開始の前日までに「変更届」を提出が必要である。
- 長崎労働局へ提出するが、「訓練計画実施届」であり認定ではない。
- 保管必須書類として「事業内職業能力開発計画書」の作成要領書を作成し通知した。
- 研修実施場所は当初は決定せず、受講者数・インターネット接続環境等研修内容により決定する。このため決定次第、受講企業から研修場所を変更届としての提出が必要であったが、キャリア助成金申請の委任状を事務局に提出いただき、研修毎に事務局で纏め長崎労働局へ研修実施場所を提出し、受講企業の負担軽減と漏れの防止を図っている。
- 「訓練実施計画届」「変更届」等共同チェックの支援を、20 社に対し実施した。（H29-3 月から順次）

3) 支給申請書のチェック支援（事務費：確定支給額の 10%、認定実習併用職業訓練は 1%）

- 支給申請は「各訓練終了日の翌日から 2 か月以内」に申請書の提出が必須。
- 賃金および経費助成の支給額計算式を入れた支給申請様式を Nisa で作成し、会員に案内し申請業務の合理化を図った。
- 共同チェックについては、年間を通して「各研修の終了から 2 か月以内」に実施した。
支給申請共同チェックは、研修が終了次第順次実施し、申請数は延べ 85 件であった。

(2) 留意点のメールによる配信と電話相談

V 情報収集提供事業（「情報提供事業」）

政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、広く産業界および一般利用者への情報サービスの向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術（ICT）化を推進する。更に産業構造変革による生産性向上を行うには、IoTの取込みが欠かせない。

これらの実現のためには、ICT化、およびIoTに関わる政府をはじめ地方公共団体、および産学の取組みの情報を逸早く収集し広く周知し、これを基に認識を深めまた知見を深めていくことが重要である。

その収集・周知の一環として、地域や国内外の情報サービス産業に関わる情報を HP・メールにより広く提供し、会員企業、更に会員外企業の繁栄を目指して活動する。更には、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域の ICT 化の取組みや施策の提案等を行う。

（NISA のホームページを地域における ICT 関連のポータルサイト化を推進）

(1)提供項目：	1)研修・講座	19 件	
	2)セミナー・シンポジウム	36 件	
	3)報告会・講演会	12 件	
	4)政府および自治体からの通知等	47 件	
	5)試験・コンテスト募集、その他	4 件	
	6)関連団体（JISA・ANIA）情報	97 件	計 215 件

(2)団体情報

情報源として、上部団体である一般社団法人情報サービス産業協会（JISA）、一般社団法人全国地域情報産業団体連合会（ANIA）、九州経済産業局、長崎県・市、長崎県産業振興財団、長崎県工業技術センター、佐世保情報プラザ、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校

からの情報をメールで配信。

なお、1)ANIA（全国地域情報産業団体連合会 会員速報）

2)JISA メール

3)九州経済局からの情報

以上は、東京での開催が多いが、中央での動向を掴む意味で配信した。

(3)主情報

長崎県工業技術センター		開催日
1	自動制御技術研究会 IoT 分科会の設置	H29-04-11
2	第 98 回月例懇談会	H29-05-12
3	第 99 回月例懇談会	H29-06-09
4	第 100 回月例懇談会・特別記念講演会	H29-07-04
5	電気・電子機器部品技術セミナー	H29-07-13
6	電波監視と干渉波探索セミナー	H29-07-25
7	一般公開における企業出展募集	H29-07-31
8	3Dプリンターの技術解説と新たなモノづくりのための活用法セミナー	H29-08-30
9	平成 29 年度九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー	H29-10-11~13
10	MZ プラットフォーム講習会	H29-11-07
11	第 9 回長崎県産学官テクノフォーラム(社会インフラ分野)	H29-12-01
12	高周波パワーデバイス技術セミナー	H29-12-06
13	第 24 回 先端技術導入促進セミナー	H29-12-07
15	レーザーコーティング技術(肉盛溶接の高度化等)に関する技術セミナー	H30-01-22
16	工業技術センター懇談会	H30-01-29
16	第 25 回先端技術導入促進セミナー	H30-02-07
17	統計解析セミナー	H30-02-09
18	平成 29 年度長崎技術研究会活動報告会	H30-02-26
長崎県立大学		
19	平成 29 年度第 1 回情報セキュリティ・セミナー	H29-08-21
20	情報セキュリティ学科「社会人のための情報セキュリティ・セミナー(アドバンス)」	H29-10-28
21	情報セキュリティ学科学術講演会「情報セキュリティの経済学的側面」	H29-12-15
22	情報セキュリティ・セミナー	H29-12-16
23	シーボルトテクノ塾「スクラッチ講座・初級編」	H29-12-23

24	シーボルトテクノ塾「OpenCV による顔画像認識セミナー」	H30-03-17
25	『誰もが働き易い職場づくり実践企業認証制度 創設 1 周年記念式』	H30-03-29
長崎大学		
26	未来志向制御計測学講座 講演会「中小企業の第 4 次産業革命と IoT」	H29-06-02
長崎総合科学大学		
27	公開講演会「21 世紀の科学技術 - 生命と環境 -」	H29-11-05
佐世保高専		
28	平成 29 年度地域企業対象情報セキュリティ講演会	H29-07-04
九経局		
29	「九州 IoT コミュニティ」設立総会・講演会@福岡市天神	H29-07-31
30	IMI 共通語彙基盤普及促進セミナー	H29-10-31
長崎県・長崎市		
31	成長分野高度人材育成支援事業企画提案の公募のご案内(H30-2-28 まで受付)	H29-04-18
32	「地域創生人材育成事業」雇用型訓練(平成 30 年度新卒)実施受託企業の公募	H29-05-16
33	地域創生人材育成事業 雇用型訓練(中途採用)募集	H29-05-19
34	柏木孝夫先生講演会 & 第 5 回地域プロジェクト推進議 (長崎)	H29-06-09
35	ワーク・ライフ・バランス企業内推進リーダー養成研修会	H29-06-15~
36	長崎県 IoT 推進ラボ セミナー	H29-07-16
37	誰もが働きやすい職場づくり実践企業認証制度(Nピカ)	H29-09-26
38	IoT 講演会～IoT 活用による地域の未来	H29-10-03
39	中小製造業における IoT の基礎と活用実例セミナー	H29-11-13
40	元気なものづくり企業ステップアップ支援事業関連セミナー	H29-11-22
41	「働き方」を考えるワールドカフェ開催(諫早・長崎・佐世保)	H29-12-02~
42	「長崎県職場環境づくりアドバイザー」派遣事業について	H29-12-06
43	長崎県主催 オムロン PLC 基礎セミナー	H29-12-08
44	長崎県 IoT 推進ラボ連携セミナー「福祉・介護と情報技術の融合」	H29-12-15
45	IoT 人材育成ワークショップ	H30-01-19~
46	地域における IoT 導入検討に向けたセミナー	H30-01-26
47	H30 年経営力強化セミナー	H30-02-01
48	シーケンサ 基礎セミナー	H30-02-05
49	第 4 回長崎県海洋産業フォーラム	H30-02-19
50	ロボット産業活性化セミナー	H30-02-21
51	神戸市内ロボット工場の視察	H30-02-26
52	自動制御技術研究会(IoT セミナー)	H30-03-19
53	「長崎県の労働事情」(調査報告書)	H30-03-23
54	『誰もが働き易い職場づくり実践企業認証制度 創設 1 周年記念式』	H30-03-29
55	「長崎県産業人材育成戦略の推進について」	H30-03-30
長崎県 IT 融合化推進協議会(ES-Nagasaki)		
56	IT 融合化講演会 2018 in Nagasaki ～IoT～AI～ロボット～	H30-01-31
佐世保情報産業プラザ		
57	農業 IoT セミナー	H30-02-02
長崎県中小企業団体中央会		
58	H30 年経営力強化セミナー	H30-02-01
長崎県産業振興財団		
59	平成 29 年度「長崎県産学官金技術交流フェア」	H29-10-04
長崎県警察本部		
60	サイバーセキュリティ通信 vol.1	H30-02-08
61	サイバーセキュリティ通信 vol.2	H30-03-28

南島原市		
62	IoT セミナー	H30-01-31

VI 講演・セミナー事業(「講演セミナー事業」)

ICT化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取り組んでいる施策に関する情報を、産学官で共有しその情報化に関する啓蒙普及の一環として、産学官の専門家を招聘し講演会・セミナーを開催した。

(1) 事業内容

- 1) 開催回数 : 2～4回/年
- 2) 案内方法 : 県、市、大学、各種団体等、会員にチラシ配付、メール配信、および当法人のHPに掲載
- 3) 対象 : 会員および非会員(行政職員、大学職員、および各種団体職員)
- 4) 参加人数 : 40～80名

(2) 実施内容(敬称略)

1) 通常総会時講演会 H29-6-22(木) 16:30～17:40 ホテルセントヒル長崎

- i) 演題 : 「人工知能 IBM Watson を活用した具体的導入事例」
- ii) 講師 : 木村情報技術(株) 代表取締役 木村 隆夫
- iii) 概要 : 人工知能は魔法の杖のように思われ、導入さえしてしまえば何にでも対応してくれるような間違ったイメージも先行してしまい、人工知能に対する過度な期待も高まっている。木村情報技術(株)はIBM Watson 日本語版を日本で一番最初に扱うパートナーの権利を得てこの一年半の間、IBM Watson を多くのビジネスの場や医療業界での活用を具現化する研究開発を進めて来た。今回の発表では、その事例をもとにして、どのように人工知能を活用していけるのかについて講演頂いた。
- iv) 聴講者 : 64名(会員57名、非会員7名)

2) 新春講演会 H30-1-25(木) 16:00～17:30 ホテル セントヒル長崎

- i) 演題 : 「2020年 コンピューターはどのように進化するか 人類の新たな挑戦 The Machineプロジェクト」
- ii) 講師 : 日本ヒューレット・パッカード(株)
HPEエバンジェリストリーダー HPE総合エバンジェリスト 山中 伸吾
- iii) 概要 : AI、ディープラーニング、IoTの世界的普及により、人類が扱うべきデータ量は指数関数的に増大している。しかしこれらのデータを扱うには、従来のコンピューターでは処理が追いつかなくなり、それらのコンピューターを動作させるとしても、地球上で発電できる電力量では賄えない、とも言われている。ヒューレット・パッカード研究所では、これら地球規模、人類がすぐに直面する問題に対して、全く新しいコンピューターを開発するプロジェクト「The Machine」をスタートさせた。本講演では、AIやDeep Learning, IoTの現状の課題、プロジェクトスタートの背景、The Machineプロジェクトの具体的な内容について講演頂いた。
- iv) 聴講者 : 97名(会員72名、非会員25名)

3) IT 融合化講演会 2018 in Nagasaki 「IoT～AI～ロボット」

H30-1-31(木)、13:30～17:00、ホテルセントヒル長崎

- i) 基調講演 : IoT～AI～ロボットの技術動向と持続可能な社会情報システムに向けて
九州大学大学院システム情報科学研究所 主幹教授 福田 晃
- ii) 講演
 - ①長崎県 IoT 推進ラボ推進の概要 長崎県産業労働部
 - ②AIの産業応用——課題と近未来展望 九州工業大学 特命教授 名誉教授 石川 眞澄
 - ③現場の個別業務ニーズに応えるデスクトップ RPA (株)デリバリーコンサルティング 社長 阪口 琢夫
- iii) 主催 : 長崎県 IT 融合化推進協議会(ES-Nagasaki)
- iv) 共催 : 長崎県、一般社団法人 長崎県情報産業協会(NISA)
- v) 後援 : 長崎市、長崎大学、長崎総合科学大学、九州IT融合化システム協議会(ES-Kyushu)
- vi) 聴講者 : 77名(会員29名、会員外48名)

VII 理事会(役員会) 主な項目のみ下記に記す (敬称略)

- (1) 第1回 理事会(役員会) H29-4-20(木) 15:00～17:00、長崎市図書館会議室、議事録担当 須藤理事
役員以外の出席者:なし

- 1) ANIA全国大会開催(H29 年度、第 39 回)実施計画: 決定
- 2) H29 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し発表企業、および招待者について: 承認。
- 3) H28 年度仮決算と仮法人税・仮消費税: 承認
- 4) 「四国情産協企業とのビジネスマッチング」: 承認
- 5) 厚労省「人材開発支援助成金」(旧: キャリア形成促進助成金): 確認
- 6) 情報セキュリティマネジメント試験対策講座の実施(案): 承認
- 7) 「IT マスター」制度に係る登録申請者の募集: 承認
- 8) H28 年度「委員会活動」と「活動トピックス」: 確認

(2) 第2回 理事会(役員会) H29-5-25(木) 15:00~17:00、長崎市図書館会議室、議事録担当 梁瀬理事
役員以外の出席者: 長崎県企業振興課 係長 中川 哲朗

- 1) ANIA全国大会開催(H29 年度、第 39 回)実施準備: 確認
- 2) 事退任に伴う新監事選任について(追加審議: 会員増強について): 承認
- 3) H29 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し等の確認: 承認
- 4) H28 年度決算と法人税・消費税・公益目的支出計画実施結果 (監査 5/11 完了): 承認
- 5) オール長崎による長崎シリコンバレー化のための人材育成事業(enPiT): 承認
- 6) 「四国情産協企業とのビジネスマッチング」: 承認
- 7) 平成 29 年度 JISA 地域活性化事業の募集: 承認
- 8) 長崎市住民基本台帳ネットワークシステム管理運用審議会委員の候補者の推薦: 承認

(3) 第3回 理事会(役員会) H29-6-22(木) 13:00~13:30、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 石井理事
役員以外の出席者: なし

- 1) ANIA全国大会開催(H29 年度、第 39 回)実施準備: 確認
- 2) 理事・監事退任に伴う新理事・監事選任: 確認
- 3) H29 年度通常総会・講演会テーマ・わが社の一押し・交流会体制の確認: 確認
- 4) 「四国情産協企業とのビジネスマッチング」: 確認
- 5) 平成29年度 JISA地域活性化事業の実施 (募集: 6/30申請締切): 承認
- 6) 「採用力強化セミナー+新人研修説明会」(7/25 開催): 承認

(4) 第4回 理事会(役員会) H29-7-27(木) 15:00~17:00、佐世保情報産業プラザ・大会議室、
議事録担当 濱口理事
役員以外の出席者: なし

- 1) ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回)実施計画: 決定
- 2) H29 年度新役員(理事・監事)と新体制: 確認
- 3) 平成 29 年度 JISA 地域活性化事業の実施申請: 確認
- 4) 長崎県立大学情報システム学科 授業「企業研究」講師選定: 承認
- 5) 第6回長崎デジタルコンテスト開催の後援と協賛: 承認

(5) 第5回 理事会(役員会) H29-8-24(木) 15:00~17:30、NISA 研修室、議事録担当 山口理事
役員以外の出席者: 県企業振興課 係長 中川 哲朗

- 1) ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回)実施計画: 確認
- 2) 平成 29 年度 JISA 地域活性化事業の実施: 承認
- 3) 新入社員向け技術者研修の開催: 承認
- 4) 長崎県工業技術センターとの意見交換会の開催: 確認
- 5) 長崎県立大学情報システム部 インターンシップ: 承認
- 6) H30年新春講演会 講演者の推薦: 承認

(6) 第5回 理事会(役員会) H29-9-21(木) 15:00~16:55、長崎市図書館会議室、
議事録担当 荒木理事(NBCis)
役員以外の出席者: なし

- 1) [理事会前]第 5 回長崎デジタルコンテスト開催結果報告 (株)アドミン 代表取締役 山口 知宏
- 2) ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回)実施計画: 確認
- 3) 平成 30 年新春講演会(1/25・木)テーマおよび講師の検討(企画委員会): 承認

(7) 第6回 理事会(役員会) H29-10-26(木) 15:00~17:30、長崎市図書館会議室、議事録担当 平手理事
役員以外の出席者: なし

- 1) ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回)実施計画: 確認
- 2) 平成 30 年新春講演会(1/25・木)テーマおよび講師の検討(企画委員会): 承認

- 3)平成 30 年新春「わが社の一押し」発表企業の検討:承認
- 4)諫早商業高等学校(情報科)における県内情報サービス業企業説明会):承認

(7)第8回 理事会(役員会) H29-12-21(木) 14:00~16:00、出島交流会館、議事録担当 三條西理事
役員以外の出席者:なし

- 1)[理事会前] 情報サービス業における人材育成と確保について(意見聴取)
長崎県産業労働部 産業政策課 産業人材育成版 参事 前田 哲夫
- 2)[理事会前] プロフェッショナル人材(出向型)の獲得推進について
長崎県産業労働部 企業振興課 地場企業支援班 主任主事 松尾 幸治
長崎県プロフェッショナル人材戦略拠点 戦略マネージャー 川原 健司

- 2)ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回)実施:報告
- 3)平成 29 年新春行事スケジュール「わが社の一押し・講演会・交流会、招待者」:確認
- 4)IT 融合化講演会 2018 in Nagasaki-IoT~AI~ロボット-(ES-Nagasaki)開催:確認
- 5)カスペルスキー ゲーム形式サイバーセキュリティ演習 KIPS in Nagasaki:承認
- 6)平成 30 年度 NISA 研修のアンケート結果と選定講座:承認
- 7)長野県塩尻市 情報化の取組視察(案):確認
- 8)組込みソフトウェア動向調査 <<九州経済産業局>>:承認
- 9)ANIA 新春交歓会(2/8 開催)への出席者:確認

(9)第9回 理事会(役員会) H30-1-25(木) 13:30~14:30、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 小原理事
役員以外の出席者:なし

- 1)[理事会前] IT 研修について(意見聴取)
長崎県産業労働部 企業振興課 参事 有富 雄二、係長 中川 哲朗
- 2)平成 29 年新春行事スケジュール「わが社の一押し・講演会・交流会」:確認
- 3)平成 30 年度研修計画(研修委員会)について:承認
- 4)H29 年度 NISA 活動トピックス検討審議:確認

(10)第 10 回 理事会(役員会) H30-2-22(木) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 峰松理事
役員以外の出席者:なし

- 1)[理事会前] iCD (i コンピテンシ・ディクショナリ)活動の新展開について
(独)情報処理推進機構(IPA) IT 人事育成本部 HRD イニシアティブセンター 土田 修
- 2) ANIA長崎大会開催(H29 年度、第 39 回)承認
- 3)H30 年度理事会・役員会の開催日程:承認
- 4)決算 予想と対策 (収益事業):承認
- 5)NISA 委員会の H29 年度活動報告と H230 年度の各委員方針提出:承認
- 6)「平成 30 年度 NISA 研修概要とスケジュール等」冊子の送付・HP 掲載:承認
- 7)中小企業景況調査担当企業の変更(県中央会):承認
- 8)「SE ハンドブック(第 9 版、KIA 刊)」冊子の送付:承認
- 9)H26 年度 NISA 活動トピックス:確認

(11)第 11 回 役員会 H30-3-22(木) 15:00~17:15、Nisa 研修室、議事録担当 須藤理事
役員以外の出席者:なし

- 1)[理事会前] 長崎県次世代情報産業クラスター協議会への入会について
長崎県産業労働部企業振興課 係長 中川 哲朗、主任技師 小楠 伸一
- 2)H30 年度役員(理事・監事)の公募:承認
- 3)H30 年度通常総会の日程・講演会テーマ検討(4 月理事会で決定):承認
- 4)H30 年度通常総会のわが社の一押しの検討(4 月理事会で決定):承認
- 5)決算(収益事業) 予想と対策(3/21 現在):承認
- 6)【県】企業の魅力発信事業に係る「企業説明会」について:承認
- 7)NISA 委員会の「H29 年度活動報告」と「H30 年度方針と計画」の提出(4 月 20 日):承認
- 8)H29 年度 NISA 活動トピックス:確認